

有明工業高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	基礎電気磁気学
科目基礎情報				
科目番号	2E004	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	創造工学科(エネルギーコース)	対象学年	2	
開設期	後期	週時間数	後期:1	
教科書/教材	「電気基礎(上)」:川島純一、斎藤広吉著/東京電機大学出版局			
担当教員	南部 幸久			

到達目標

1. 磁気現象について、基本的な用語を理解し、説明できる。
2. 磁極や電流の作る磁界の概要を理解し、説明できる。
3. 電磁力や誘導起電力を理解し、説明できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	磁気現象について、基本的な用語を詳細に理解し、諸量の関係を導き出せる。	磁気現象について、基本的な用語を説明でき、諸量の計算ができる。	磁気現象について、基本的な用語を説明できず、諸量の計算ができない。
評価項目2	磁極や電流の作る磁界の概要を詳細に理解し、諸量の関係を導き出せる。	磁極や電流の作る磁界の概要を説明でき、諸量の計算ができる。	磁極や電流の作る磁界の概要を説明できず、諸量の計算ができない。
評価項目3	電磁力や誘導起電力を詳細に理解し、諸量の関係を導き出せる。	電磁力や誘導起電力を説明でき、諸量の計算ができる。	電磁力や誘導起電力を説明できず、諸量の計算ができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 B-1

教育方法等

概要	われわれの目では見えない静電気、電流と磁界等の電磁現象を理解し、電気・電子工学の基本的能力を養う。
授業の進め方・方法	講義形式で行う。また、適宜、問題演習等を行う。
注意点	授業時間の講義のみでは不十分である。日々の予習復習をしっかり行うこと。そのためには、最低限、教科書に書いてある内容を勉強し、例題、章末問題を解いておくことが必要である。

授業の属性・履修上の区分

<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
-------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週 ガイダンス、磁石の性質と磁気誘導	科目の位置づけ、必要性、学習の到達目標および留意点を理解できる。磁石の性質と磁気誘導を理解し、説明できる。
		2週 磁極の強さと磁気力、クーロンの法則と磁界および磁界の強さ	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		3週 磁力線と磁界の強さ、磁界中に置かれた磁石に作用するトルク	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		4週 地球の磁気、磁束と磁束密度	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		5週 透磁率・比透磁率、電流の作る磁界	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		6週 右ねじの法則、磁力線の方向、ビオ・サバールの法則	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		7週 アンペア周回路の法則	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		8週 中間試験	
	4thQ	9週 電流の作る磁界の強さ、磁気回路のオームの法則	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		10週 磁化曲線、ヒステリシスループ(B-H曲線)、電磁力とその方向・大きさ、フレミングの左手の法則	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		11週 磁界中のコイルに生じる力、電流相互間に働く力	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		12週 電磁誘導誘導起電力の方向と大きさ、フレミングの右手の法則	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		13週 回転する導体の起電力、うず電流	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		14週 自己誘導と自己インダクタンス、相互誘導	項目ごとの理論を理解し、説明・計算できる。
		15週 期末試験	
		16週 テスト返却と解説	間違った箇所を理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	磁性体と磁化及び磁束密度を説明できる。	3	後3,後4,後5,後12
			電流が作る磁界をビオ・サバールの法則を用いて計算できる。	3	後6
			電流が作る磁界をアンペールの法則を用いて計算できる。	3	後7,後9
			磁界中の電流に作用する力を説明できる。	3	後11
			ローレンツ力を説明できる。	3	後3,後10
			電磁誘導を説明でき、誘導起電力を計算できる。	3	後12
			自己誘導と相互誘導を説明できる。	3	後13,後14

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0